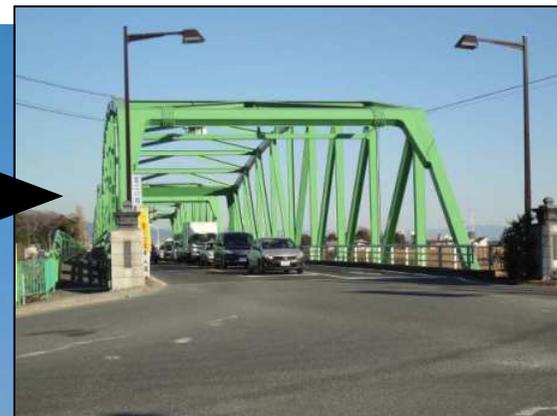


# 橋梁の長寿命化への取組



塗替えて、長寿命化



(一)富士由比線 富士川橋(富士市)  
大正13年建設【建設後90年経過】

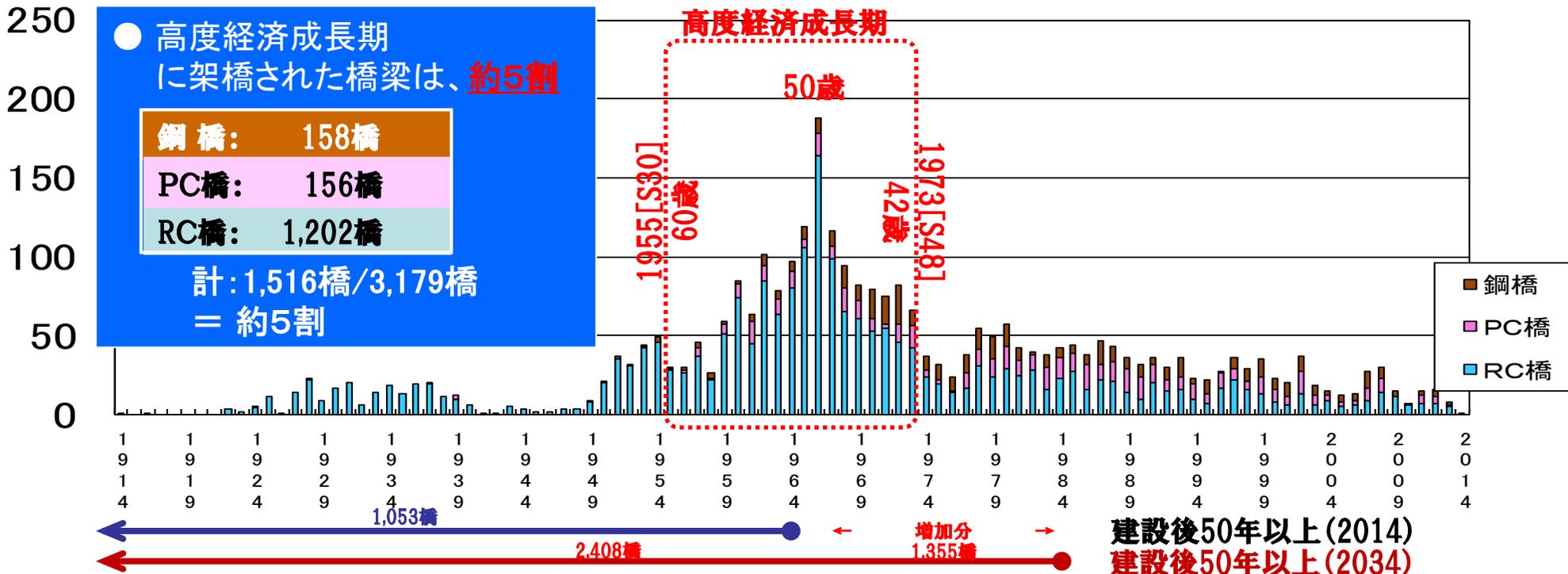
平成27年3月11日

# ○ 静岡県の管理橋梁 3,179橋

平成26年4月1日時点

橋梁数

## <建設年次別の橋梁数>



## <建設後50年以上の橋梁数>

2014年[平成26年]

33%

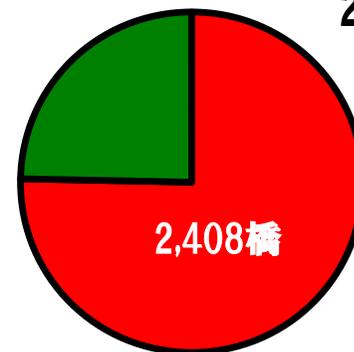


20年後には...



2034年[平成46年]

76%



# 1 点検

## 橋の損傷を見つける

- 県管理全橋(3,179橋)を対象に、  
5年に1回、近接目視点検を実施 → 3巡目の点検実施中



# 2 管理計画策定

# 予防保全型の長寿命化計画を策定する

## ■ 計画のポイント

- ・計画的に補修し、橋の寿命を長くする

## ■ 計画の効果

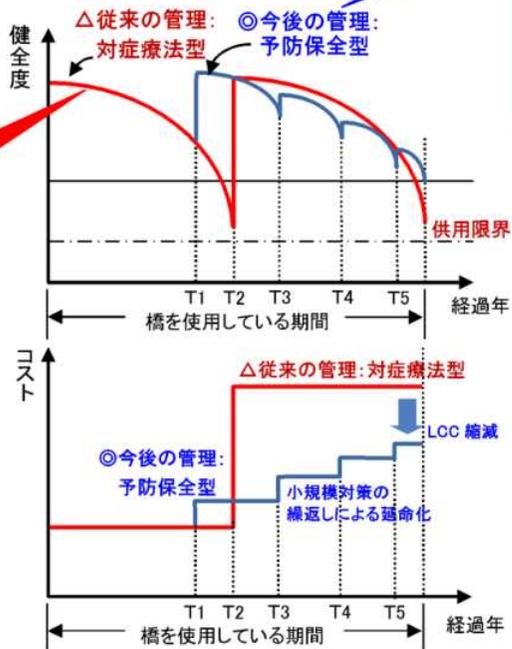
- ・計画的なメンテナンスは、大規模修繕を抑制し、多額のコスト縮減が実現

**\* 従来: 損傷がひどくなったら、大規模修繕<対処療法型>**

**\* 今後: 損傷がひどくなる前に、計画的にメンテナンス(補修)を行い、長寿命化<予防保全型>**



◎今後の管理: 予防保全型  
小規模対策の繰返しによる延命化

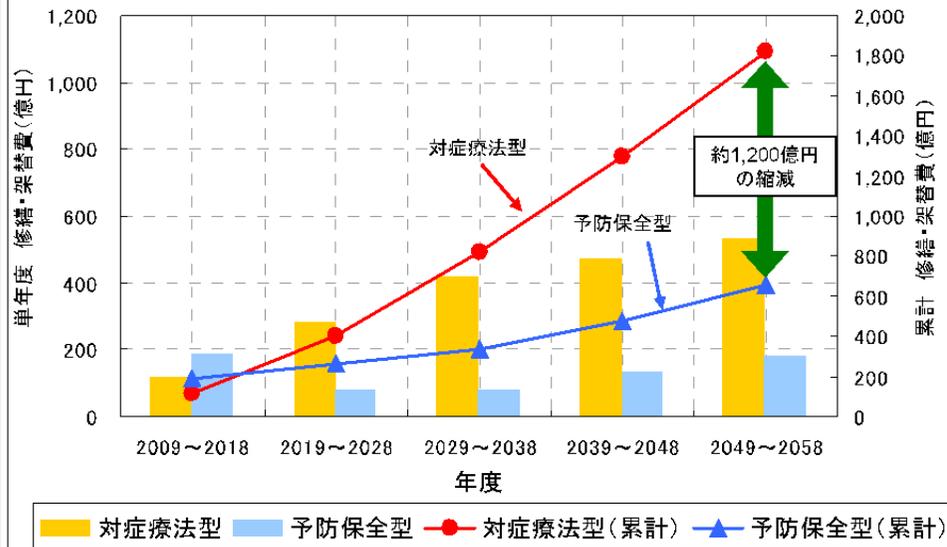


△従来の管理: 対症療法型  
メンテナンスを怠ったため  
大規模修繕

＜今後: 予防保全型＞のコスト と  
＜従来: 対症療法型＞のコスト との差  
**約1,200億円**

(対象: 管理上重要な橋梁)

対症療法型と予防保全型による将来の事業費予測



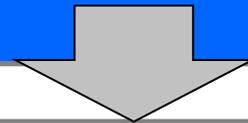
### 3 事業実施

## 損傷の特にひどい橋を緊急的に補修

■ 管理上重要な橋梁のうち、  
特に損傷の著しい橋梁(107橋/3,179橋)について、  
主要部材の補修など緊急的な補修を行う。

\* H22～H28の7年間で実施

\* 107橋の緊急補修により、管理上重要な橋梁はすべて健全な(=予防保全管理が可能な)状態となる



「予防保全管理」を開始！

#### ■ 補修の例



塗替塗装実施

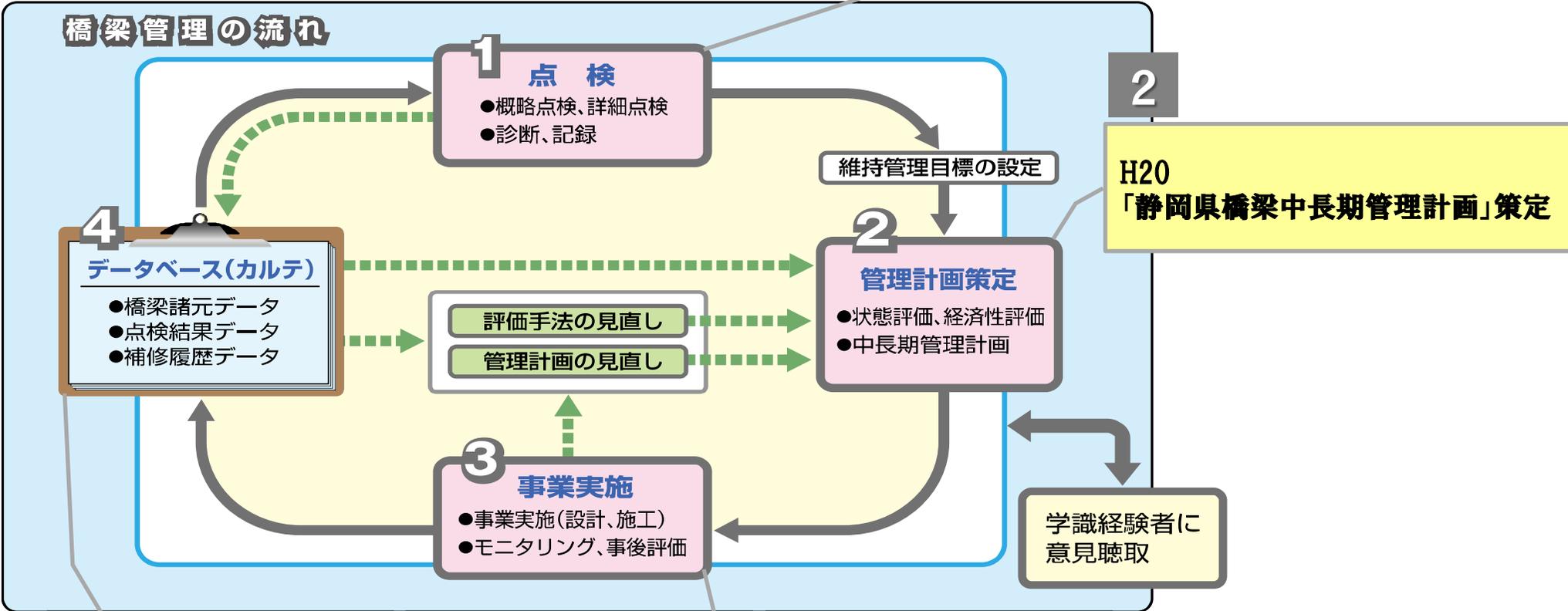


# ○ 長寿命化への取組

# マネジメントサイクルを回す

■ H16策定の「橋梁ガイドライン」に基づき、マネジメントサイクルを回し、長寿命化を実行

1  
H17~H19 橋梁点検(1巡目)  
H22~H25 橋梁点検(2巡目)  
H26~H30 橋梁点検(3巡目)



2  
H20  
「静岡県橋梁中長期管理計画」策定

4  
H17  
橋梁データベース構築

3  
【管理上重要な橋梁】  
H22~H28  
「道路施設長寿命化緊急対策」実施  
+  
【管理上重要な橋梁以外】  
必要に応じて補修を実施